

学生取材  
レポート  
2022.5.28

2022年度 全日本吹奏楽コンクール

# 課題曲クリニック



学生広報委員  
管楽器リペア科 小林



『日本一過激な課題曲クリニック』そうおっしゃる天野正道 氏。毎年多くの学校が選択するコンサートマーチの作曲家から見た譜面の矛盾、音の組み合わせを意識して演奏しないと不自然に聞こえてしまう部分など、ユーモアを交えながらわかりやすく解説していただきました。また、それぞれの課題曲に合わせた基礎練習法、定期演奏会などで是非とも演奏してほしい、基礎のレベルアップにつながる課題曲の紹介などもされていました。

## 天野正道 氏からの メッセージ

新型コロナウイルス蔓延により、通常の吹奏楽コンクールが開催できない年度が続きました。そうしたコロナの影響を受けながらも、少人数のアンサンブルコンテスト、ソロコンテストなど、吹奏楽コンクール以外の形態が増えたことによって、夏のコンクールが吹奏楽のすべてであるかのような常識を塗り替えるいいきっかけになったのでは、と思います。生徒の皆さんには、まず音楽を楽しむことを大切にしてほしいですね。コロナによって個人練習が増え、合奏が少なくなっていると、誰かと音を合わせる楽しさを再認識してみてください。最後に、コンクールに参加する全員が音楽を楽しむこと。これが何よりも大切にしてほしいですね。結果のための音楽ではなく、良い音楽のおまけとして結果がついてくる、そんな演奏を期待しています。



<<天野氏 Wiki





会場全体の清掃、ウイルス対策の消毒液の設置、一人ひとりの役割確認など、チームワークが大いに発揮されました。

## 学生主導の 会場運営

今年度から、本校「音楽サービス創造学科」の学生や職員の協力により、クリニックの講義中に、課題曲音源の再生や会場スクリーンへのフルスコアの表示・解説内容の書き込みなどを行いました。参加者のみなさまに、より理解していただきやすく工夫しました。



## 学生主導の クリニック

課題曲クリニックと並行して、本校「管楽器リペア科」の学生や職員によるクリニックが行われました。参加した方には、普段使用している楽器を持参いただき、楽器の部品の状態などを確認していただきました。正しいお手入れを心掛けていただくよう、初心者の方でもわかりやすい解説シートを作成し、持ち帰っていただきました。「自己流で不安でしたが安心しました！」など、嬉しい言葉をいただきました。



## 部活動運営のための 座談会

参加された吹奏楽部顧問の方々から、指導における悩みや相談などをみなさんで一緒に解決してこうと実施されました。指導法はもちろん、運営方法など、多岐に渡る内容でした。コロナ禍での生徒への配慮についても話が上がり、コンクールの雰囲気や楽器の運搬方法など、今の生徒が知らない過去の情報は、指導者の方々から伝えてあげることも大切な指導ではないだろうかなど、具体的に話し合われました。

## 参加された方々より(一部抜粋)

普段聞けない深い話まで聞くことができ、今後の課題曲の聴き方が変わると思います。練習方法や質問に丁寧に答えていただき、理解しやすかったです。



学校法人 中部学園 (職業実践専門課程認定校)  
**中部楽器技術専門学校**  
CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS  
〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル  
**0120-856-854**  
TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中  
URL:www.chubugakki.ac.jp

